

Blue Rhino IV

プログラム

トッカータ〜「オルフェオ」(クラウディオ・モンテヴェルディ)
Toccata (Claudio Monteverdi)

パヴァーナ《理性の死》(ジョルジョ・マイネリオ)
Pavana "La morte de la ragione" (Giorgio Mainerio)

モテット《マリアよ我らに語れ》(ジョヴァンニ・バッサーノ)
Motetto "Dic nobis Maria" (Giovanni Bassano)

エコーによるカンツォン《ラ・モチェニガ》(ジョヴァンニ・バティスタ・リッチョ)
Canzon in eco La Moceniga (Giovanni Battista Riccio)

第二旋法によるトッカータ(タルクイーニオ・メールラ)
Toccata del secondo tono (Tarquinio Merula) Organo solo

ソナタ第21番(ジョヴァンニ・ガブリエリ)
Canzon XXI (Giovanni Gabrieli)

パッサカリア《小さなジャック》(ジローラモ・ダラ・カーザ)
Passacaglia "Petit Jaquet" (Girolamo Dalla Casa)

シャンソン《元氣発射》によるパッサジャ(ジョヴァンニ・バッサーノ)
Passaggi "Frais et gaillard" (Giovanni Bassano)

カンツォン第3番(ジョヴァンニ・ガブリエリ)
Canzon terza (Giovanni Gabrieli)

休憩

第一旋法による両手のティエント(ガブリエル・メナルト)
Tiento de dos manos del primero tono (Gabriel Menalt) Organo solo

ロマネスカの Aria によるソナタ(サラモネ・ロッシ)
Sonata sopra l' Aria della Romanesca (Salamone Rossi)

ファンファーレ(ジローラモ・ファンティーニ)
Fanfare (Girolamo Fantini)

パッサメッツォ・アンティコ(インプロヴィゼーション)
Passamezzo antico (Improvisation)

パガニーナのパッサメッツォ(ジョルジョ・マイネリオ)
Pass "e mezzo della Paganina" (Giorgio Mainerio)

Aria《この苦惱はあまりに甘く》(クラウディオ・モンテヴェルディ)
Aria "Sì dolce è 'l tormento" (Claudio Monteverdi)

8声のカンツォーナ(フランチェスコ・カヴァッリ)
Canzona a 8 (Francesco Cavalli)

プロフィール

濱田芳通 (ホルネット・リコーダー)

我が国初の私立音楽大学、東洋音楽大学（現東京音楽大学）の創立者を曾々父に持ち、音楽一家の四代目として東京に生まれる。

桐朋学園大学古楽器科卒業後、スイス政府 給費留学生としてパーゼル・スコラ・カントールムに留学、リコーダーを花岡和生、ホルネットをB.ディッキーの各氏に師事。コンチェルト・パラティエーノ、アンサンブル《ラ・フェニーチェ》、アンサンブル《PAN》、アンサンブル《エリマ》、R.ヤーコプス、E.ガッティ、T.ヘンゲルブロック、M.コルデス、K.ブッケ等と共演、ヨーロッパ各地でコンサート及びレコーディング活動を行っている。米国ヒストリック・プラス・ソサエティ会員。アンサンブル《アントネッロ》主宰。合唱《ラ・ヴォーチェ・オルフィカ》指揮者。東京芸術大学古楽科リコーダー専攻講師を歴任。

西山まりえ (オルガン)

東京音楽大学及び同大学研究科チェンバロ科修了。チェンバロを渡邊順生、オルガンを植田義子の各氏に師事。その後、学内給費留学生としてパーゼル・スコラ・カントールム及びミラノ市立音楽院に留学。チェンバロをR.アレッシンドリーニ、A.シュタイアー、ハーブをM.ガラッシ、中世音楽をP.メメルスドルフ、通奏低音及びアンサンブルをイエスパー・クリステンセンの各氏に師事。第11回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第1位上原賞および栃木蔵の町音楽祭賞受賞。

アンサンブル《アントネッロ》メンバー。これまでに日本やイタリア・スペイン等のヨーロッパで多数の録音をしている。

国内で高い評価を受けた1999年発売「見果てぬ夢の先—スペイン」は2003年にその本国スペインでもリリースされ、最優秀推薦盤（リトゥモ誌）として選ばれる。

中村孝志 (ホルネット&ナチュラルトランペット)

一橋大学卒業。小学生のときにトランペットを始める。新交響楽団および聖バレンティン・プラス・アンサンブルに在籍、フィリップ・ジョーンズの薫陶を受ける。やがて古楽に興味に移り、95年より濱田芳通氏に師事しホルネットの修行を始める。パロックトランペットをステファン・キーヴィに習う。《ラ・ヴォーチェ・オルフィカ》モンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」公演、アントネッロ公演等に参加。古楽アンサンブル《なかなかや》メンバー。米国ヒストリック・プラス・ソサエティ会員。

角田正大 (テナー・サクソバット)

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。トロンボーンを早川秀一、ギ・デスタンク、山口修身、サクバットを藤本勇二氏の各氏に師事。1991年《ブルーライン》を結成。金管アンサンブル、ジャズ・アンサンブルとして活動。1994年よりブルーラインの活動に、サクバットアンサンブルを取り入れる。第一回、第二回ホルネットセミナーに参加し、濱田芳通氏、ウィリアム・ドンゴワ氏に古楽演奏法の指導を受ける。愛知金管アンサンブル、名古屋ウィンドオーケストラ、ナゴヤシティ管弦楽団等で研鑽を積む。現在ブルーラインバンドマスター、ナゴヤシティプラスメンバー。

泉秀子 (テナー・サクソバット)

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。同大学研究生修了。トロンボーンを藤澤伸行、早川秀一、サクバットを藤本勇二の各氏に師事。1996年名古屋芸術大学卒業演奏会出演。三重県上野市新人演奏会出演。他多数。

角田実花 (テナー・サクソバット)

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。トロンボーンを藤澤伸行、早川秀一、サクバットを藤本勇二の各氏に師事。古楽アンサンブルを竹本義明氏に師事。第二回ホルネットセミナーに参加し、濱田芳通氏、ウィリアム・ドンゴワ氏に古楽演奏法の指導を受ける。

小林明 (バス・サクソバット)

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。トロンボーンを早川秀一、箱山芳樹、サクバットを藤本勇二の各氏に師事。フリーのトロンボーン奏者として東海地区を中心に演奏活動、指導にあたっている。現在、ジャパン・ウィンド・アンサンブルのバストロンボーン奏者。